

## 2. 広域モニタリング地域調査

### 2-1. 各道県の広域モニタリング地域の位置と

#### 地形地質土壌の概要

#### 2-1-1. 北海道（図Ⅱ-2-1 および図Ⅱ-2-2）

苫小牧市の北東部に位置するウトナイ湖を中心とした地域を、広域モニタリング地域に設定した。

1/25,000 地形図の「沼の端」図幅、標準地域メッシュの 6441-05 に相当する。

全地域は標高 50 m 以下の丘陵地および低地である。北部は支笏火山の斜面下部に位置する第四紀火山砕屑物からなる丘陵地で、その丘陵地を美々川・勇払川水系が刻んでいる。美々川水系には各所で湧水点がみられる。一方南部は勇払平野の一部であり、ウトナイ湖を中心に沖積低地が広がっている。

ウトナイ湖は、面積約 230ha、水深 0.5 ～ 0.6 m の浅い海跡湖であり、その周辺の後背湿地や、丘陵地を刻む谷の谷底の湿地などは未開発のまま自然状態を保っている。

土壌は、ほぼ全域にわたって火山噴出物未熟土であるが、水分条件によって河川や湖沼の周辺に湿性火山噴出物未熟土が分布する。特にウトナイ湖と勇払川の周辺には泥炭土が広がる。また、支笏火山山麓にあるゴルフ場では人工的な土壌改変が行われている。

#### 2-1-2. 埼玉県（図Ⅱ-2-3 および図Ⅱ-2-4）

埼玉県の中南部に位置しており、飯能市、日高市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町などにまたがる地域を広域モニタリング地域として設定した。

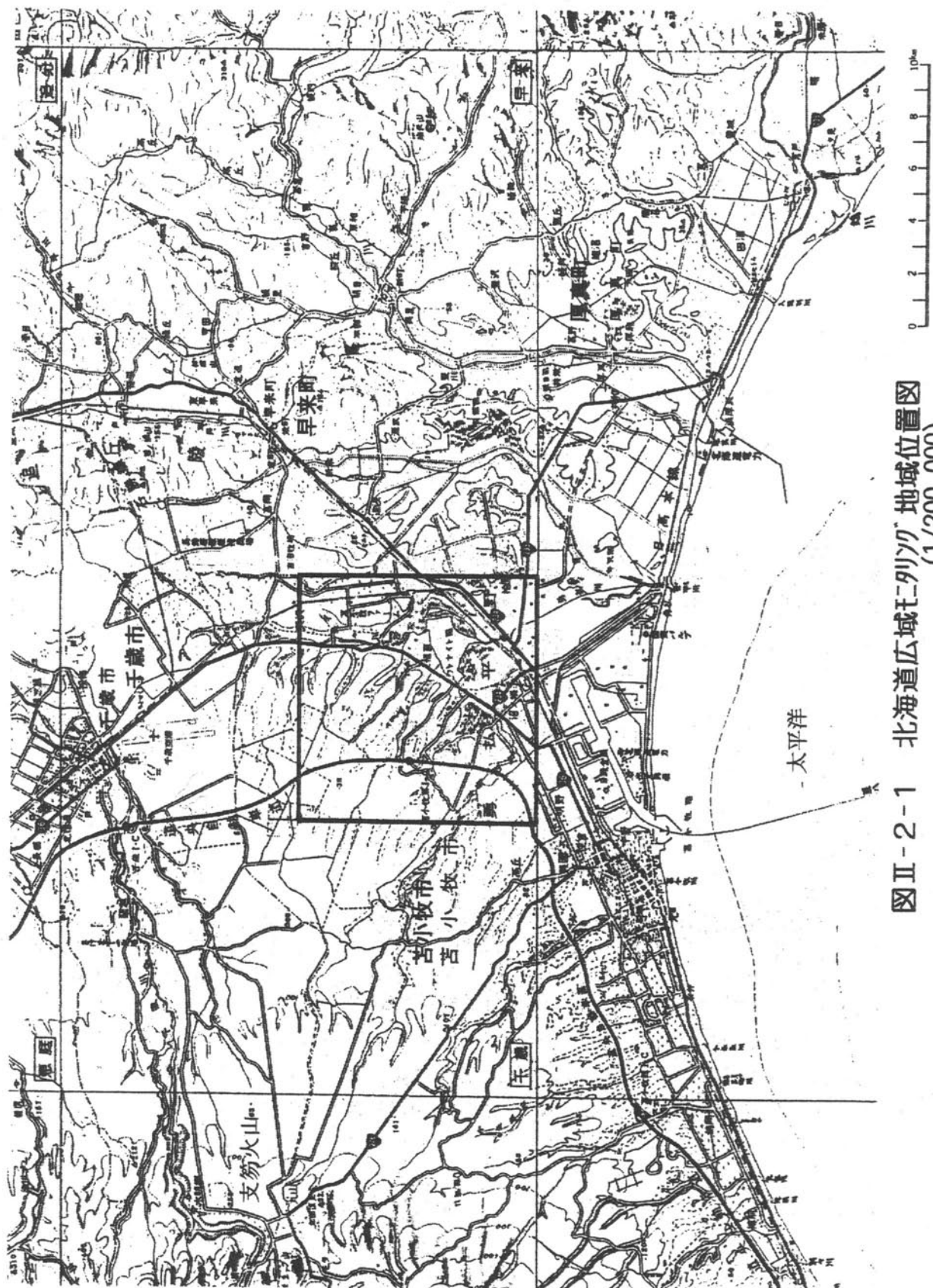
1/25,000 地形図では「飯能」図幅の北半分および「越生」図幅の南半分、標準地域メッシュの 5339-62-50 ～ 99 および 5339-72-00 ～ 49 に相当する。

当該地域はその中央を南北に走る八王子－高崎構造線によって、地形地質的に東西で大きく2分することができる。構造線より東は関東平野の末端に位置し、第三紀中新世、鮮新世の堆積岩あるいは第四紀の未固結堆積物からなる標高 40 ～ 100 m 丘陵地・台地であり、構造線より西は関東山地の東端である標高 600 m より低い小起伏山地が連なる。この山地は中・古生代の堆積岩、結晶片岩および貫入蛇紋岩からなる。

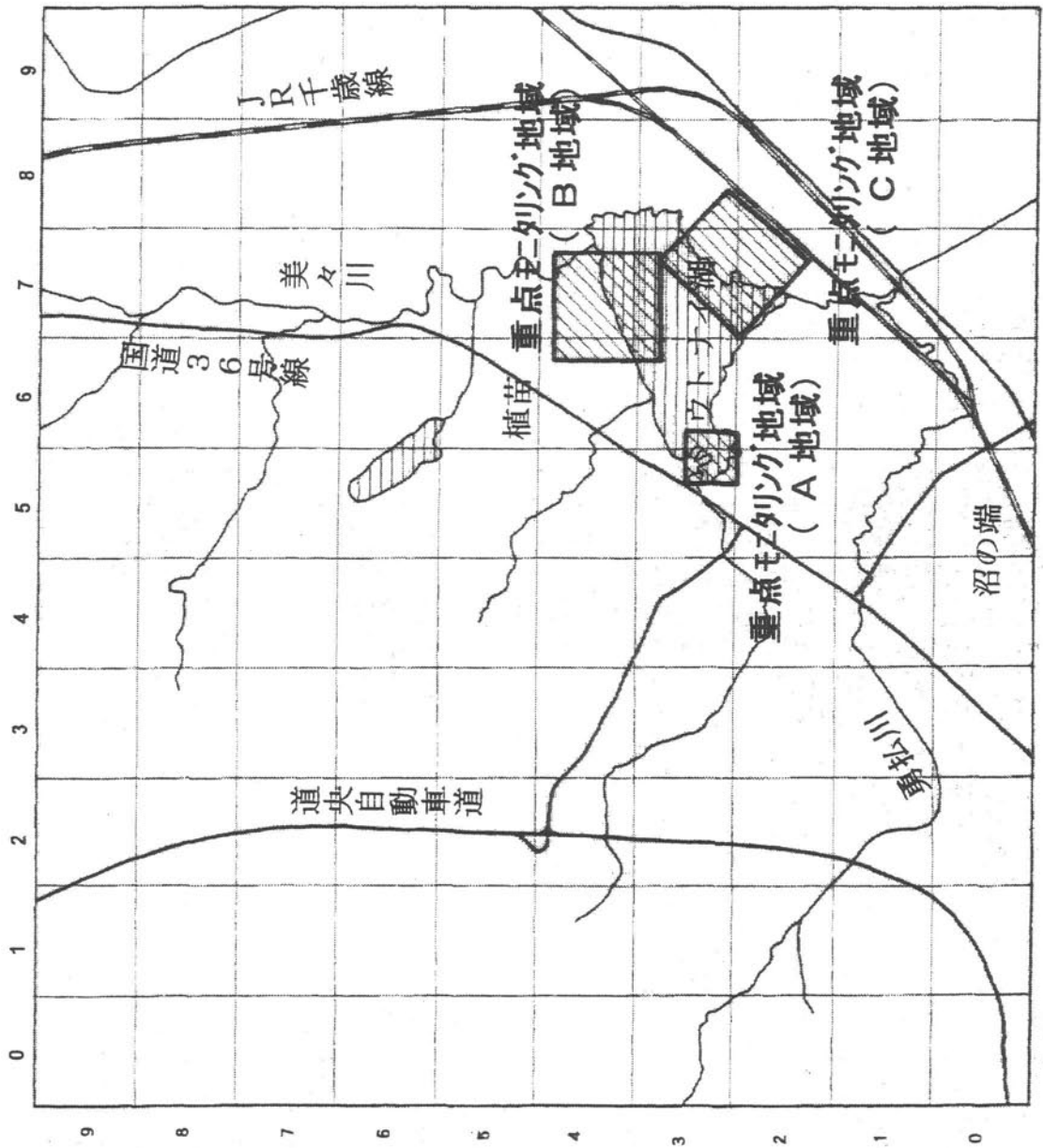
水系は荒川の支流、入間川の上流部にあたる高麗川、越辺川が当該地域を西から東へ流れる。高麗川は、当該地域より西の秩父盆地とを境する正丸峠に端を発し、山地を深い谷で刻み、丘陵地、台地を東流する。また、越辺川は当該地域内の山地内に端を発し、人造湖である鎌北湖を経由して丘陵地、台地にいたり、この地域より北東で高麗川と合流する。

土壌は、西側の山地には褐色森林土が、東側の丘陵地、台地には黒ボク土が広がる。また谷沿いの水田にはグライ土壌が分布する。一方都市部を中心に土壌の改変が行われている。

#### 2-1-3. 静岡県（図Ⅱ-2-5 および図Ⅱ-2-6）



図II-2-1 北海道広域に於ける地域位置図  
(1/200,000)

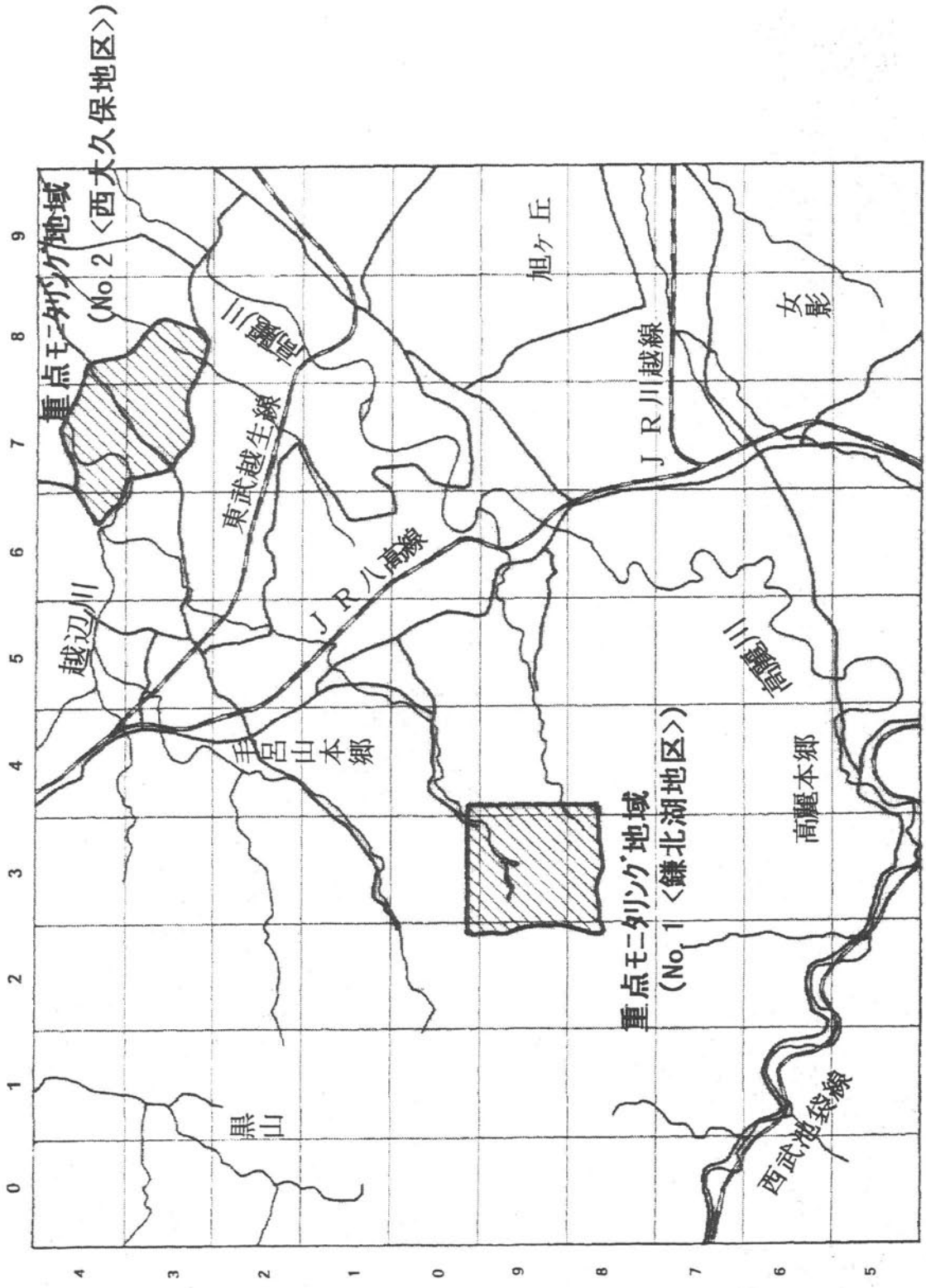


図II-2-2 北海道広域モタリング地域概観図  
 <標準メッシュ第2次地域区画コード: 644105>  
 ( 図の上と左の番号は、第3次地域区画コード )



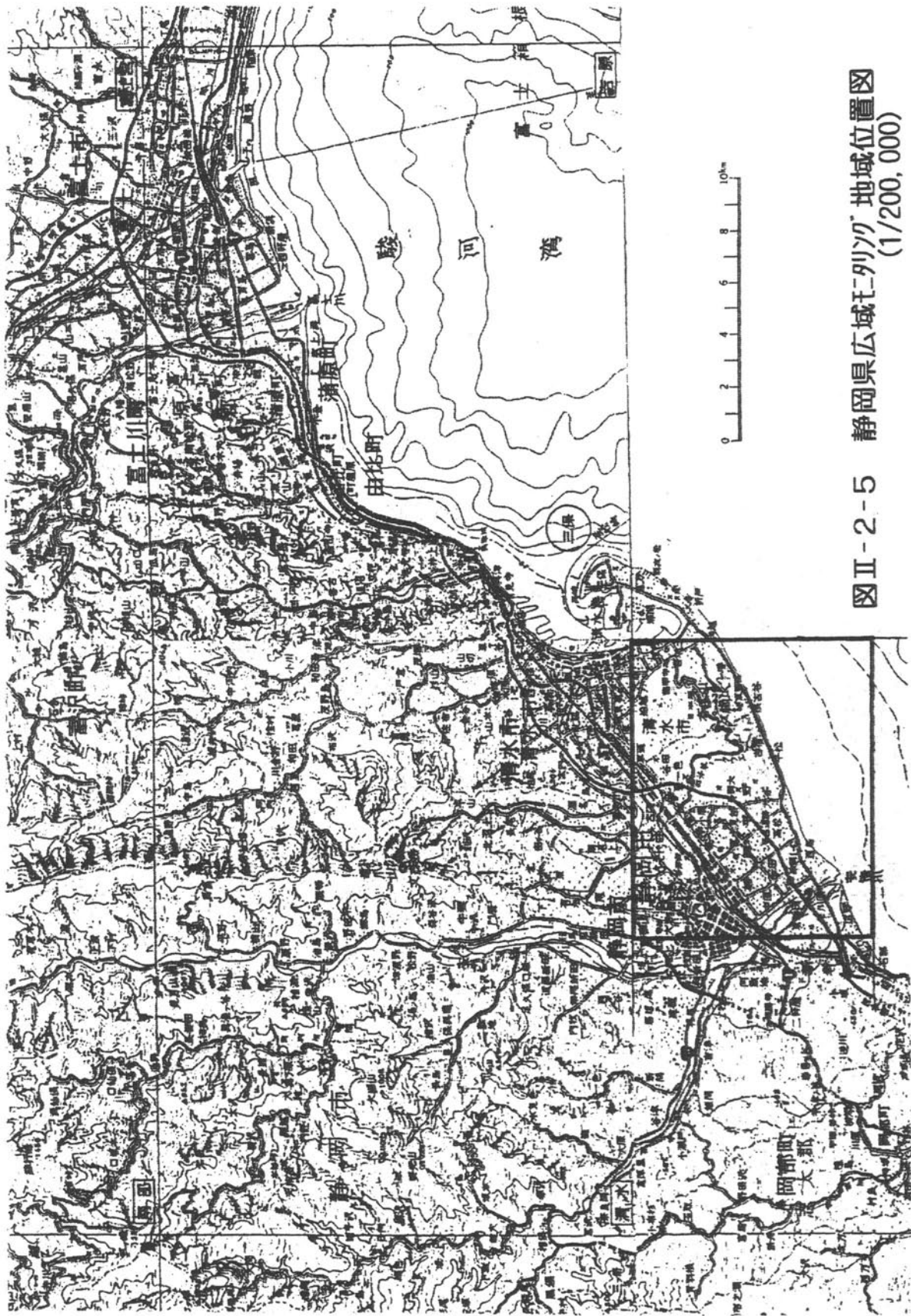
図Ⅱ-2-3 埼玉県広域に列列ノ地域位置図  
 (1/200,000)





図II-2-4 埼玉県広域モニタリング地域概観図

<標準メッシュ第2次地域区画コード：北半分533972，南半分533962>  
 ( 図の上と左の番号は、第3次地域区画コード )



図II-2-5 静岡県広域「リソソ」地域位置図  
(1/200,000)